

75年のフジノルテ



昭和50年の競馬は無事に全日程を消化した。売上げも九千億台を記録するなど
数字的には大盛況で終ったようだ。しかし反面、内容的に今一つ物足りなかつた
とする声も聞かれる。49年の四歳クラシック戦線におけるキタノカチドキの活
躍、古馬のハイセイコー、タケホープの対決に比べれば、たしかにスケールが小
さい感もないではない。さらに昭和51年の競馬をますます発展させるためにもマ
スコミその他から、数々の問題が提起されておる。そこで今回は恒例のフリー
ハンデを作つていただく前に、日頃直接に馬と接しているハンデ・キャッパーの
皆さんに現場で感じられる問題点をも語つていただきたい。

四

歳馬

— 50年度の競馬も、前半は力

ブライオ、テスコガビーの活躍で色々と話題が生まれましたが、後半は春シーズンの活躍馬に故障がでたりして、ショットと寂しかったですね。

近藤 イシノアラシの有馬記念や、グランダーマーチスの中山大障害など、話題にはこと欠かなかつたようですが、たしかに故障馬によつて水をさされたというところはありますね。

藤田 実は49年のこのフリーハンデで上位にランクした馬、例えば四

歳ですとキタノカチドキ、コネルランサー、スルガスンブジョウ、インターングッド、さらにはカーネルシンボリ、スリーヨークといった馬の出走がほとんどありませんでしたからね。寂しかったですよ。

西田 関西の古馬でも、タニノチカラやクリオングードらが故障のため、秋の天皇賞や有馬記念に出走しないまま引退です。

柴田 古馬ばかりではなく、将来を期待される三歳馬にも故障が多いですね。例えば、キタノカイウンな

り、プリンキーバートスなど。

寛 故障のない馬が珍しいくらいですね。それも病気より、調教中に骨折するなどの事故が多いですね。

佐久間 栗東の例を申しますと、これまでの毎年の調教中の事故の平均は年150～160頭です。それが50年は11月中旬で210頭を超えてます。

堀尾 たしかに最近の馬は、昔の馬に比べて体力的に劣るんじゃないですか。今の子供と同じですよ。体力ばかりは大きいけれど、まるつきり体力がない。

田中 たしかに一昔前では、500キロを超す馬は珍らしかったですが、今は当り前のように思われている。

休運動量にも多少の差があつて当然だと思います。何でもかんでも、運動は一日何時間というのは機械的ですし、毎週木曜日が追い切りというのも……。

寛 まあこのようなことも我々としては、感覚的というか総論的にしか言えませんが……。

藤田 たしかに厩舎内での馬の管理方法に工夫が必要だと感じますが、それ以前の問題、つまり生産地における育成方法にも問題があると思います。むしろこちらの方を考えなくてはいけないでしょう。

柴田 そうですね。カブライオなり、テスコガビーは、そんなに高い値段の馬ではなかつたそうです。(笑)

近藤 とにかく我々競馬会をはじめ、競馬サークル全体でもう一度、「馬には愛情」という言葉を考えなくては。かなり心得違いをしている人間が多いそうだから……。

田中 たしかに「競馬の敵は眠つてはいない」ということですね。

各務 結局、現在盛んに言われる生産過剩問題と関係しましょうね。量的に競走馬が多くなったことは、それだけ馬の底辺が広がつていてことでしょうか、馬を作れば売れた時代どちがつて、広い運動場を持たない牧場では、満足な育成は望めません。例えは白井分場所属の馬が比較的成績がよいといわれてますが、たしかに白井には新進の調教師が多く、何でも積極的に試しているようです。そして一日中放牧を行なつて馬に自由に運動させてます。

岩片 そして馬の個性を考えて、運動量にも多少の差があつて当然だと思います。何でもかんでも、運動は一日何時間というのは機械的ですし、毎週木曜日が追い切りというのも……。

寛 調教量が昔に比べて、増えたということはないと思います。むしろ昔の方がハードトレーニングを行なつていたようですね。

各務 結局、現在盛んに言われる生産過剩問題と関係しましようね。量的に競走馬が多くなったことは、それだけ馬の底辺が広がつていてことでしょうか、馬を作れば売れた時代どちがつて、広い運動場を持たない牧場では、満足な育成は望めません。例えは白井分場所属の馬が比較的成績がよいといわれてますが、たしかに白井には新進の調教師が多く、何でも積極的に試しているようです。そして一日中放牧を行なつて馬に自由に運動させてます。

西田 それに平行しますが、昔に比べて、いい種牡馬がたくさん入ってきている。それで、高価な血統馬が生れる。大事にする。運動中にケガでもされたらまらない、といふことで、それが逆に馬の育成にマイナスしているのではないか。

西田 それに平行しますが、昔に比べて、いい種牡馬がたくさん入ってきている。それで、高価な血統馬が生れる。大事にする。運動中にケガでもされたらまらない、といふことで、それが逆に馬の育成にマイナスしているのではないか。

西田 そうですね。カブライオなり、テスコガビーは、そんなに高い値段の馬ではなかつたそうです。(笑)

近藤 とにかく我々競馬会をはじめ、競馬サークル全体でもう一度、「馬には愛情」という言葉を考えなくては。かなり心得違いをしている人間が多いそうだから……。

田中 たしかに「競馬の敵は眠つてはいない」ということですね。

各務 まだまだお話を続きそうですが、時間もあまりありませんので、そろそろ本題の方へお願いします。

藤田 それじゃ、四歳からいきま

しょうか。トップはカブランヤオーで問題ありませんが、さて何キロになりますか。昨年のキタノカチドキは64キロでした。

近藤 カブランヤオーの次にくる馬とのバランスの問題もありますね。

年度代表馬の次点は、テスコガビーだったそうですが……。

西田 秋シーズン出走できなかつたことは減点にはなるけれど、とにかくカブランヤオーが全体の最強だろ

う。二冠・六連勝は立派だ。
柴田 昨年の二冠馬キタノカチドキが64キロ、ダービー馬コーンルランサーガ62キロでしたから、63キロが順当でしょう。同じ二冠でもキタノカチドキは一年間走ってダービーが三着

です。
田中 一昨年のタケホープは63キロでしたら、この二頭を比較すればタケホープの方が上のよう気がします。しかし四歳時6戦6勝の成績は何といつても立派だし、63キロでいい

でしよう。

高宮 春カブランヤオーに敗れた馬

が秋に強くなつてますから、やつぱりカブランヤオーは強い馬だったといふことですね。

各務 それでもやつぱり63キロですか。

堀尾 それじゃ二番手はどうしま

すか。イシノアラシ、菊花賞馬コクサイプリンス、牝馬のテスコガビーと、難しいですね。

算 私は秋の天皇賞を勝つて意気の上がるフジノパーシアを有馬記念

で破ったイシノアラシだと思います。62キロでいいでしょう。

柴田 カブランヤオーと1キロ差すか? 2キロあつてもいいでしょう。例年なく古馬のレベルが低かつただけに、いかに有馬記念を勝ったとはいえ……。クラシックでは一勝もしてないんですから。

藤田 イシノアラシはセントライト記念も勝つてます。二着はハーバーヤング、三着にコクサイプリンス。たしかに菊花賞は一番人気で四着に敗れますが、秋の充実ぶりは一番でしょう。

堀尾 それじゃ、いつたんイシノアラシ、コクサイプリンス、テスコガビー、それにダービー、菊花賞二着のロングファスト、それに暮れの阪神大賞典を庄勝したロングホークなどを二・三番手候補と見て、整理してみましょうか。

各務 ロングホークはクラシックに実績がないとはいえ、朝日CC、地方競馬招待・阪神大賞典で古馬に勝っている。ロングファストよりは上だと考えます。

田中 たしかに勝鞍は多いが、やっぱり四歳馬はクラシックを中心にしてるんだし、むしろ大レースで二着してロングホークに先着したロングファストの方が、勝負強い。大レースの二着馬は歴史に残らないかも知れないけれど、二着二回は捨てが

ですね。

算 そうなつてくると、トップのカブランヤオーとは1キロ差でいいわけですね。

—— だいたい意見が一致したようですから、確認します。カブランヤオー63キロ、イシノアラシ62キロ、コクサイプリンス61キロ、テスコガビー60キロ、ロングホーク、ロングファストは共に59キロですね。

柴田 こうして考えてみると、たしかに1キロ差の評価が妥当なようですね。

西田 ロングホーク、ロングファストは同斤としましょう。そして無

冠より菊花賞を勝ったコクサイプリンスと菊花賞。オーファスのテスコガビーがその上。そして有馬記念勝ちのイシノアラシがもう1キロ上。

藤田 桜花賞、オーファスを勝ったテスコガビーは近年稀に見る傑出し牡馬ですね。ただこれ又秋シーズンの出走がなく、牡馬陣と手合せがありませんでしたから、菊花賞馬と同斤はどうでしょうか。歴年のフリーハンデでも、菊花賞をダービー並みに見ていますし、コクサイプリンスはもう一つ京都新聞杯を勝つてますから、1キロ差はあるでいいでしょう。

近藤 そのコクサイプリンスとイシノアラシを比べれば、内容的にイシノアラシという気になる。

堀尾 結局、有馬記念の価値をどう考えるかということにもなる。47年年のフリーハンデでもイシノヒカルの有馬記念勝ちを重く見ているし、それで年度代表馬にもなっている。

算 そうなつてくると、トップのカブランヤオーとは1キロ差でいいわけですね。

—— だいたい意見が一致したようですから、確認します。カブランヤオー63キロ、イシノアラシ62キロ、コクサイプリンス61キロ、テスコガビー60キロ、ロングホーク、ロングファストは共に59キロですね。

西田 残念ながら関西は56キロりません。今年の古馬の筋も薄くなりますが、55キロならばシンザン記念勝ちのエリモジョージ。

藤田 関東では、55キロならば関屋記念を勝ったファイブワン。何といつても一六〇〇斤の日本レコードは立派ですかね。

佐久間 54キロになるとトウフクホープ、スリーフラム、グリーンファイト、ヒダロマンと、関西勢もにぎやかになってきます。

高宮 関東ではアンセルモ、カバリダナー、トウホーパールがでてきます。

(以下略)

古馬

—— それでは次は古馬のフリー
ハンデをお願いします。春の天皇賞
はイチフジイサミ、秋はフジノパー
シアでしたが、総決算というべき有
馬記念では四歳馬イシノアラシに栄
冠をさらわれています。例年に比較
して古馬のレベルが落ちると思われ
ますが。

西田 大しかしに四歳馬に比べると
影が薄い印象もあります。それに最
近の天皇賞馬はだらしないといわれ
てますが、フジノパーシアは安定味
もあり、決して弱い馬ではないと感
じます。

堀尾 トップはやはり天皇賞馬フ
ジノパーシア、イチフジイサミでし
ょ。何といっても天皇賞は古馬競
走の頂点のレースですから。

高宮 フジノパーシアは春に東京
新聞杯、敗れたとはいえ馬記念は
二着ですから、この馬が古馬ではト
ップでしょう。

堀尾 この馬は正月の金杯に登録
があつて、ハンデをつけたんですね
が、フルゲートになつたために、除
外されています。それで赤富士賞に
回りこれに勝ってオープン入りを果
たしてます。強くなりましたね。

—— 簡 古馬になって充実した馬とい
えばキクノオーもそうでしょう。重
賞を四つ勝つてますし、目黒記念の
勝ちっぷりは鮮やかでした。
近藤 イチフジイサミと並べても
いいでしょう。これらが50年のトッ
プグループでしょうね。

—— 簡 キクノオーはイチフジイサ
ミ以上ではないでしょうか。イチフ
ジイサミは天皇賞を勝つたとはい
え、他にこれといった成績もありません
せんし。

近藤 大しかしに成績を見れば安定
味に欠ける馬という印象は強く受け
ます。しかし、49年の年度代表馬で
オーブンで二着、マイラーズCを勝
つて意気上がるキタノカチドキに完
勝しただけに、フジノパーシアには
及ばないとしても、キクノオーと並
べるのは当然でしょう。

—— 天皇賞を勝った後、それに
ふさわしい成績を上げられない馬が
見られます。その原因はどの辺に
あるのでしょうか。

近藤 その原因については、いろ
いろ言われていますが、それは別と
して現在競馬番組は長期間に亘つ
て、あらかじめ公表されているので
すからその馬に見合つた馬の使い方
について、慎重に考えてほしいと思
いますね。

田中 いつのまにか最初の話に戻
りそうですが、フジノパーシアの重
量は何キロにしますか。昨年の秋の
天皇賞馬カミノテシオが61キロでした
ので、その上の62キロでもおかしくな
いでしょう。

各務 それでいいでしょう。次が
キクノオーとイチフジイサミの61
キロ。あとはチョットと見当りませんが、
関西馬のタニノチカラ、キタノカチ
ドキはどうしましょう。

西田 タニノチカラは50年度は夏
以降出走しませんでしたが、3戦2
勝の成績。特に京都記念では63キロ
のハンデでも圧勝してますし、忘れら
れない名馬です。61キロを付けてもお
かしくありません。

柴田 それじゃ忘れられないもう
一頭の名馬、キタノカチドキも61キ
ロ。マイラーズCではタニノチカラ、イ
ツトーを破つてます。

西田 タニノチカラより今回は一
下でしょう。結局は天皇賞や有馬
記念を勝てなかつたし、50年の実績
では60キロですね。

—— 簡 そうなるとキタノカチドキの
幻のライバル、カーネルシンボリも
60キロでしょう。暮れの夢の対決で遅
れをとつたとはいえ、春の目黒記念
を勝ち、秋の天皇賞での活躍。天皇賞
馬フジノパーシアが62キロですから、
その二着馬が60キロの評価は適当でし
ませんよ。ナオキです。

柴田 関西にも60キロの馬がもう一
頭いますよ。ナオキです。

佐久間 中京記念、鳴尾記念、宝
塚記念の重賞三勝は高く評価されま
すから。

—— 整理しますとフジノパーシ

ア62キロ、イチフジイサミ、キクノオ
ー、タニノチカラが61キロ。60キロはキ
タノカチドキ、カーネルシンボリ、
ナオキの三頭ですね。

堀尾 これだけ並べると、どうし
てどうして、けっこう豪華なメンバ
ーだ。

高宮 次は1キロ差でイットーか
な。スワンSと高松宮杯の勝馬。牝
馬のトップだけの実力はある。他馬
ではイットーに並ぶだけの馬はいな
い。

各務 そうするとローレルへ行つ
た日本代表馬はどうしますか。有馬
記念には三着しましたよ。

堀尾 札幌記念、函館記念と重賞
に二勝しているが、ツキサムホマレ
が日本代表馬になつた時に、相当冷
やかに見るむきもあつた。遠征帰り
で決して休調がベストでなかつたに
もかかわらず、三着に追い込んだ根
性は立派だったし、58キロでもおかし
くない。

藤田 重賞二勝クラスではサクラ
イワイ、ヒカルジンデン、ホワイト
フォンテンで58キロか。

田中 日本代表馬と並ばせるわけ
にはいかないでしょう。もう一つ下
の57キロでいい。関西馬ではロッコー

イチ、スカイリーダあたりかな。

柴田

関東の57%クラス馬に比べると、やや貴禄不足の気がします。56%がいいでしょう。そうなるとフミノヒカリも入るし。

岩片

勝鞍がなかつたとはいえ、秋に活躍したトウコウエルザも56%でいいんじゃないですか。サクライ

ワの1%下で……。

西田

ストロングエイトはどうしますか。50年はAJC杯の1戦1勝だけだが。

算

そうですね。これまで1戦馬は評価しないという原則でしたのが、引退戦を見事に逃げきつた勝利は鮮やかですしどう。仮に入れるな

らば低い格付けでは駄目ですね。

近藤 入るべきでしょう。この

フリーハンデはけつしてお遊びで作っている訳ではなく、その年度の中

央競馬を数字におきかえて顧みることですし、印象深い馬は記録に残すべきでしょう。

田中 そのくらいの柔軟性はあつて当然でしょうね。さてどれだけつけましようか。

柴田 名前ちなんで58%はどうですか。有馬記念馬だし、実力馬にはちがいありません。

堀尾 それじゃ58%はツキサムホマレとストロングエイトの二頭。

(以下略)

同斤でもいいと思つてましたが、ではトップのボールドシンボリをいくつにしましようか。

藤田 層は厚いようですから、他

馬とのバランスを考え56%でいいでしょう。49年のトップのライジンが4戦2勝、阪神三歳S勝ちで55%ですから、その上の評価はあっていいですね。

近藤 以下朝日杯の着順通り、ス

ピリットスマップスが55%、フェアスピートが54%、クライムカイザーといナリニウドーが53%といったところでしょう。

藤田 牝馬のティタニヤも54%でいいでしょう。牝馬陣がやや見劣りするようですが、ティタニヤはなかなか見どころのあるレースをしてます。現在の力はフェアースポーツと互

格です。

高宮 クリアオハヤジュウジオーも53%でいいでしょう。

田中 関東勢はなかなか意氣盛んなようですが、関西馬はいかがでしょうか。

田中 49年度のライジンが故障してしまったことは本当に残念でした

が、今年はテンポイントという強い馬ができました。

西田 関東馬のトップが56%でし

たら、こちらは57%、58%でもいいですね。

柴田 そのくらいはありそうです。というのは、三戦三勝ですが内容的にいい。函館での新馬戦58秒8は立派だし、もみじ賞、阪神三歳S

の勝ちっぷりは大物の風格そのものでした。

各務 その意味では57%、58%でもよさそうですが、とにかく現在まで

に関東馬との対決がありませんから、同じく56%に評価しておくべきでしょう。

柴田 イヤ、57%だ! (笑)

高宮 たしかにテンポイントの強さは耳にしますが。57%というのはどうでしょうか。関東と並んで56%。

田中 テンポイントはそれでいいけれど、二番手は何でしょう。チョ

ツと抜きんでてますからね……。

西田 デイリー杯三歳Sを勝ったキタノカイウンでしょう。故障で休

養中なのでテンポイントとは一緒に走ってませんが、何キロ差にしま

す。よ。

柴田 2%差の54%ですね。53%はカミイチとゴールデンタテヤマの二頭です。

各務 たしかに本年は牝馬は層が薄いですね。関西ではプロバンスでしょうが、これは52%になるでしょう。

——いろいろとお話を伺うと今からクラシックの日々が待ち遠しく感ぜられます。はたして東の馬か、西の馬か大きいに興味ある所です。しかし、四歳馬にしても、古馬にして

も、とにかく無事で走つて欲しいですね。本年の各馬の活躍を大いに期待しましょう。本日は有難とうございました。

近藤 ボールドシンボリ、スピリットスワップス、フェアースポーツと粒

逆転もありましょうね。

堀尾 ですから私は、この三頭は

二歳馬

'75年のフリーハンデ

*北馬 抽せん馬
◎父内国産 ◎外国産馬
△特込馬 ◇公営出身馬

四歳馬	古馬	三歳馬(東)	三歳馬(西)
カブライヤオー	フジノバーシア	ボールドシンボリ	テンボイント
イシノアラシ	イチフジイサミ	スピリットスマッシュ	キタノカイウン
コクサイプリンス	キクノオー	フェアズボート	カミイチ
※テスコガビー	タニノチカラ	※④テイタニニヤ	(サウンドトラックハッカ)
ロングファスト	カーネルシンボリ	イナリニウド	ゴールデンタテヤマ
ロングホーク	キタノカチドキ	クライムカイザー	(ザンチャード=ミスルース)
ハーバーヤング	ナオキ	クリアロハ	エリモテンリュウ
イシノマサル	※イットー	ジユウジオ	キーフアイア
ハクチカツ	ツキサムホマレ	カネルベガサス	キングラナーク
エリモジョージ	ストロングエイト	サクラハイネス	サカウエー
ファイブワン	※サクラライワイ	ザグロス	スズカリンドウ
※アンセルモ	ヒカルジンデン	※テスコグリーン	セントダグツド
カバリダナー	ホワイトフォンテン	ムサシダケ	④タニノレオ
グリーンファイト	スカイリーダ	※メイジガルボ	※ブローバンス
スリークラム	※トウコウエルザ	※アドシーカー	ミヤジマレンゴ
トウフクホープ	フミノヒカリ	カシワダリン	※アランブエス
※トウホーパール	ロッコーアイチ	カネアタゴ	※クインリマンド
ヒダロマン	※ナスノチグサ	カラカスシチ	クニノベガサス
※エースコスマ	ニホンビロセダン	※④クレール	ケイシユウフォード
オーラミハル	ノボルトウコウ	スカツシユソロン	④スタビスキ
カネマフジ	※メジロジソウ	※スノーショット	ブリンクイバートス
※④ジョケンブトン	ヤマブキオ	スパーフィルド	ミヤリサンヒーロー
ソシアルトウショウ	イーストリバー	バーラムターフ	ヤマニンヒーリ
ニッポーブリンス	④④イナボレス	ブレーベロード	リュウフローリスト
フサトロキノー	ウエスタンダッシュ	※パンピーナ	※レーニクボーアイ
メイセイヒカリ	エリモカンセイ	ベリーフラッシュ	※④エバートホース
ヨネミノル	※ケイリュウシングキ	④トウカントケンバ	※④エースジユサン
アヤフブキ	サンボウ	モソレイユ	エリモファイト
※④ウラカワチェリー	シルバーネロ	アイアンワールド	エリモファーザー
エナージスター	スズカハード	※ウエスタンレッド	※④オカトラ
エビスフォーラン	ツアールターフ	※④クモハタチエリー	カクノスバ
オウブレス	トウショウロック	コクサイオーザ	スバーチーム
オンワードビーツ	④ハクサンホマレ	(チャコロッカタリーホモ)	クラウンビラード
オンワードプリンス	※カミノチドリ	ゴールデンイサム	ダイハード=エイトクラウン
カネアザミ	④サンチャイナ	コロンビアシチ	ケイシユウロザリア
サクラセダン	スズタカツバサ	ザアシエーン	エスコボーエチャザリ
タイフウォー	ハセマサル	※サクラオール	ジヨータカバル
ダイフクミツ	ブルームーン	トモエチドリ	スター・ダッシュ
タイホウヒロー	ホリマロニエ	④トリデジヨウ	タカミオーラ
※④タニノサイアス	モアーキャスル	ニツボーキング	タマライドトップ
タマモヒカリ	④メジロフクシマ	※ニツボールビー	ツキノタハイシ
トウフクサカエ	ロイヤルスプリンタ	※ハーバークロー	トウショウゲツタ
④ハードラーク		※フクシスコ	ミンチ
ファニーガール		ムーンライトミスト	ビートンオール
ホクエイワン		メルシーシャダイ	※フミノワカバ
リュウブキ		ランザンオ	フルマーク
		(シーフレンド=ミスフナシ)	フローカンボイ
			※ホクザンラッキー
			ホクトボ
			マチカネタイティ
			ヤマゼンホープ
			(ダイルゴ=ラッファエリナ)

(計46頭)

(計42頭)

(計46頭)

(計48頭)